

福井県立図書館 de がんの情報を入手する

- 福井県立図書館には、健康や病気についての関連図書を分野別に配架した「医療健康コーナー」があるほか、医学や健康に関する資料を入門書から専門書まで幅広く提供しています。
- がんに関する資料は、一般向けの入門書や闘病記、診療ガイドラインのほかにも、ご自由におとりいただけるリーフレットがあります。
- ご自身やご家族の病気について理解を深めるためや、医師や看護師など医療機関とのコミュニケーションのためなどに、図書館の資料をご活用ください。
- お探しの資料が分からない場合や図書館にない場合は、図書館の調査相談カウンターでご相談ください。

診療ガイドラインとは、専門の学会によって、特定の病気について科学的根拠に基づいて作成される、標準的な治療方法を示した文書です

診療ガイドライン



患者さん向けの診療ガイドラインがある病気もあります(乳がん、膵がん、大腸がん)

「がん情報ふくい」や「がんの冊子」(国立がん研究センター発行)などのリーフレットがあります

がん情報リーフレット



闘病記とは、患者本人や家族が書いた体験記です。病気の種類別に並べています

闘病記



図書館での医療健康情報サービスのご利用について

- ・資料や情報の提供のみを行います。
- ・特定の治療法や医療機関をおすすめするものではありません。
- ・図書館員は医学の専門家ではありません。症状や診断・治療についての判断は、医療機関へご相談ください。
- ・病気や薬に関する知識・情報は日々進歩しています。ここにある情報がすべてではありません。

担当司書オススメ

福井県立図書館 de がんの情報を入手する《ブックガイド編》

身近な相談窓口など、
初めに知っておきたい情報が満載



『がん情報ふくい』

福井県がん診療連携協議会,
福井県健康福祉部健康増進課/
作成 毎年改訂

《内容》

1. がんに関する相談窓口
2. がん医療について
3. 経済的な支援について
4. 治療と仕事の両立
5. 自宅での療養生活
6. がんに関する情報について
7. 患者会、サロンなど
8. がん検診
9. 行政機関などの問い合わせ先

がん情報リーフレットコーナーで配布しているほか、インターネットで読むこともできます

治療を受けながら、自分らしくがんと向き合うために役立つ情報を紹介



『患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版』

国立がん研究センターがん対策情報センター／編著 学研メディカル秀潤社 2013

国立がん研究センターがん情報サービスのサイトにて読むこともできます

こんな本もあります

『もしも、がんが再発したら』
国立がん研究センターがん対策情報センター／編著 英治出版 2012

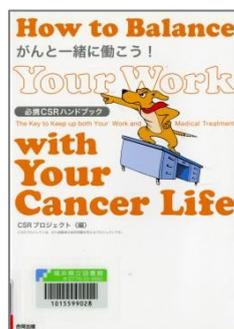
がんになっても働き続けるための解決策を
がん経験者たちが紹介

がんに関する知識、検査や治療方法、
治療後の静養などを分かりやすく解説



国立がん研究センターの がんの本シリーズ

小学館クリエイティブ
2018 (『がんとお金の本』のみ 2016)



『がんと一緒に働こう！ 必携CSRハンドブック』

CSRプロジェクト／編
合同出版 2010

こんな本もあります

『がん経験者のための就活ブック』
HOPEプロジェクト／編, CSRプロジェクト／編 合同出版 2015

実際にがんと共に生きた人たちの体験談を紹介



『わたしも、がんでした。』

国立がん研究センターがん対策情報センター／編 日経BP社 2013

国立がん研究センターがん情報サービスのサイトにて読むこともできます

ここで紹介している本は、すべて福井県立図書館で借りることができるほか、県内最寄りの図書館を通じて借りることができます。最寄りの図書館での利用を希望する場合は、最寄りの図書館窓口でお申込みください。

がんの痛みは我慢しないで！がんの痛みの伝え方や治療のしくみなどをQ & A形式で解説



『患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド』

日本緩和医療学会ガイドライン統括委員会／編 金原出版 2017

がん化学療法の副作用やセルフケアをわかりやすく紹介



『ドクターが教える抗がん剤治療がラクになる生活術』

中川靖章／監修 日東書院本社 2017

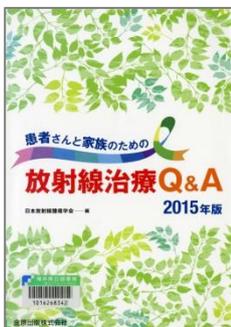
こんな本もあります

『患者・家族のためのがん緩和マニュアル』先端医療振興財団・臨床研究情報センター／監修 日経メディカル開発 2009

こんな本もあります

『抗がん剤治療と上手につきあう本』陶山浩一／編、岡本泰子／編、岩瀬弘敬／監修 日経BP社 2016

放射線治療について、専門学会がQ & A形式でわかりやすく解説



『患者さんと家族のための放射線治療Q & A 2015年版』

日本放射線腫瘍学会／編 金原出版 2015

子を持つがん患者へ 専門家がアドバイス



『がんになった親が子どもにしてあげられること』

大沢かおり／著 ポプラ社 2018

親子それぞれの気持ちに寄り添ったアドバイスです

専門家が書いた、がん患者を支える家族への後悔しない付き添い方



『大切な人に最期にしてあげられること』

NPO 法人ホスピスケア研究会／監修 河出書房新社 2014

親ががんになった子ども向けに、がんについて書かれた絵本



『ある日、お父さんお母さんががんになってしまったら』

Ann Couldrick／原作，阿部まゆみ／訳・編集，湯浅満里子／イラスト PILAR PRESS 2016

こんな本もあります

『ご家族のためのがん患者さんにご家族をつなぐ在宅療養ガイド』地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報プロジェクト／編著 日本医学出版 2016 インターネットで読むこともできます

子どもへの接し方など大人も参考になります